

NPO 法人医療的ケアネット

6・16 シンポ『今後の医療的ケアを考える』出版記念シンポジウム

市場原理に組み込まれる？ 医療的ケア・弱者の目線で問い直す

日時 2013年 **11**月 **3**日(日) 13時30分～17時

場所 ホテル ルビノ京都堀川 2F「みやこの間」

第1部 記念講演「死の自己決定権のゆくえ」 児玉真美さん

『死の自己決定権のゆくえ』(大月書店)を上梓された児玉真美さんに「無益な治療」論に象徴される海外の動静とメディア誘導の本質を語ってまいります。その先には生の多様性を保障する安全・安心な医療的ケアがあると思います。

第2部 シンポジウム<徹底討論> 「医療的ケア」をコアに今後の方向性を探る！

——医療・福祉の政策動向と医療的ケアの格差の平準化を

2025年にむけての医療と福祉(介護)「改革」の中身をしっかりと「深読み」したうえで、医療の後退、医療と福祉の連携の希薄化、都市と地方、そして全国の格差化に対して、最低の平準化をどう担保することができるか、医療、福祉、教育など各分野のシンポジストと参加者で討論します。⇒裏面に「討論のキーワード」

◎呼びかけ

オリンピック開催が2020年東京と決まりました。消費税増税にすべてをかけた社会保障制度。団塊世代が後期高齢者になり、都市部にあふれる2025年にむけて日本の社会福祉と医療は大きく変わろうとしています。2010年からはじまった「地域包括ケアシステム」論による高齢者介護の市場化構想と2013年社会保障改革国民会議(社保会議)がその方向を如実に示しています。

医師から看護師へ、看護師から介護福祉士へという医療の後退、国民皆保険制度に担保されたフリーアクセス医療への制限などさまざまな医療・介護抑制がやってくると思われまます。オリンピック招致決定のお祭り騒ぎでその動きに拍車がかかることは必至です。

いまここで、歴史的な位置を確認する意味でも、これまでの医療的ケアや重症心身障害児支援の歴史に立ち戻り、「医療的ケア」をコアに今後の方向性を再確認したいと思います。

●主催/NPO 法人医療的ケアネット ☎075-693-6604 FAX. 075-693-0065

●後援/京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都新聞社会福祉事業団(申請中)

市場原理に組み込まれる？
医療的ケア・弱者の目線で問い直す

● 討論のキーワード

- 1 高齢者急増対策の地域包括ケアシステムの中身と、それに翻弄されないで障害者の地域生活を守れるのか。
- 2 すべてが市町村押し付け策のなかで全国の平準化をどう組織し、「可能なモデル」をどう展開するか。
- 3 「社保会議」の本質把握と、医療の後退のなかで超重症児者の安全・安心な生活をどう守っていくか。世界に誇る重症児者入所施設 や学校での医療的ケアの歴史を振り返るなかで、今後の方向性をみんなで討論・確認をしたい。

● ホテル ルビノ 京都堀川「会場案内」

* 京都市バス＝「堀川下長者町」下車すぐ

「JR 京都駅」から 9・50 番

「京阪三条駅」から 12 番

* 地下鉄

「丸太町駅」より 徒歩約 15 分

● 参加費 会員 1000 円 非会員 1500 円 (申込時に入会すると会員扱い)

● 申込書送信先⇒FAX. 075-693-6605 メール mcnet-info@mcnet.or.jp

『今後の医療的ケアを考える』出版記念シンポジウム ● 参加申込書

フリガナ

① 氏 名 _____ ◎職種・所属 _____

◎連絡先 〒 _____

TEL _____ FAX _____

フリガナ

② 氏 名 _____ ◎職種・所属 _____

◎連絡先 〒 _____

TEL _____ FAX _____